■源頼政(源三位入道)

みなものよりまさ
義家延暦掣肘1104=

武将，歌人。変心して平家につくも，その専横に憤激，人生最後に源氏に戻り<一斉蜂起>先陣に。

勘解由次官藤原友実の娘を母に，清和源氏の本宗摂津源氏の流れをくむ源仲政の子に生まれる。

白河院政確立1107= 3歳：

永久の変・・・1113= 9歳：

・・・・・・1122=18歳：

鳥羽院政始・1129=25歳：

・・・・・・1131=27歳：

西行出家・・・1140=36歳：

・・・・・・1149=45歳：

頼長内覧停止1155=51歳：兵庫頭。

保元の乱・・・1156=52歳：*保元の乱で，渡辺党以下200騎を率いて後白河天皇方につき，勝利を得，華々しく登場，

後白河院政始1158=54歳：

平治の乱・・・1159=55歳：*平治の乱では初め源義朝方に加わったが変心して平家方につき，

以後は源氏として唯一人，六波羅政權下で生きのびることとなる。

・・・・・・1163=59歳：_内昇殿を許され，

清盛太政大臣1167=63歳：

・・・・・・1176=72歳：_平清盛の奏請により念願の三位となった。ほどなく出家して法名を真蓮(一説に頼円)といい，源三位入道と呼ばれた。

源氏一斉蜂起1180=76歳：*後白河院の皇子以仁王を奉じて挙兵，平氏方は頼政の行動を掌握できず，以仁王の討手の一人に予定したほどで，源氏の勝利へと繋がって行く行動であったが，園城寺から南都へ向かう途中，宇治で敗死した。頼政の和歌は「源三位頼政家集」(「群書類従」所収)のほか勅撰集や諸家集に多数見いだせる。